

タイムスリップひろしま

第3部 都市の変貌



1962年8月20日撮影



2026年5月19日撮影

①大宮の巨木

国道の歩道迂回し完成

1962(昭和37)年、広島市三篠本町(現西区大宮)の近くでは、太田川放水路の開削が進んでいた。写真の縦横を貫く

00年とされ、県の天然記念物に指定されている。

1895年建立の拝殿は、木々が原爆禍の火災を遮り残ったとされる。未舗装だった国道の整備に伴い、クスノキの伐採話が出たが、住民が猛反対。クスノキを迂回した歩道が完成した。

長年、地域のシンボルとして親しまれた巨木。今も国道188号になった幹線道路にせり出し、町を見守っているかのようだ。(天島智則)

中国新聞デジタルの特集ページで、県内各地の過去と現在を見比べられる写真を順次、紹介していきます。



2026年6月17日付・中国新聞朝刊より

弊社に隣接する新庄之宮神社の境内にある夫婦クスノキが大宮の巨木として記事になりました。